本社・大森工場

平成27年度

環境マネジメントプログラム（環境改善計画）

2015年度

承認	確認	作成

環境管理責任者	伊賀上　敦志
登録番号	ED037－06－01
作成日	2015年5月30日
改訂日	

項目	環境方針	環境目的（3ヶ年）	環境目標（1ヶ年）	実行計画	手段・方法		2015年度実施月又は確認月	担当部門及び責任者	確認時期
							4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3		
①	環境影響に配慮した製品の研究開発を積極的に推進します	環境に配慮したバルブ製品の開発・改善・改良及び環境適合設計マニュアルの作成。	①環境適合設計マニュアルの作成と検証。 ②製品の環境評価の実施。 ③環境に配慮した製品の改善・改良 2件／年	①日本バルブ工業会より示された設計マニュアル(ガイドライン)を検証し、弊社独自のものを作成する。 ②既存製品を見直し省力化・ロングライフ化を研究する。 ③社内から課題(テーマ)を提案して貰う仕組作り。(要求票)	①日本バルブ工業会(発行) ・環境適合設計マニュアル ・製品アセスメントガイドライン ・バルブ産業ビジョン ②製品の環境評価のトライ。 ③部品点数の削減(互換性)により省エネ化を計る。	検証し独自のものを作成する。 部門の定期会議の中で必ず議題として取り上げていく。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ←――――――進捗の確認――――――→ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ←――――――通年で2件――――――→	技術部 鈴木	翌年4月
②	生産効率のアップとエネルギーの削減	機械・設備の老朽化対策	①現状調査とその対策と計画の立案。 ②設備台帳の作成と原案の作成。	①設備等のリストアップ ②設備No付与 ③老朽化の現状調査 ④台帳フォーマットの作成	・旧設備台帳を参考にし、フォーマットを考案する。 ・担当チームをつくって数名で作業する。	・台帳には写真を添付する。 ・対象設備を分類、限定する。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	製造部 千田	翌年4月
③	在庫の削減	・在庫の削減により資源の枯渇防止を図ること。	・削減額　10，000千円	・効果的な「調達計画」の検証。 ・徹底した在庫管理。 ・長期滞留在庫のデータ化。	・調達システムの改善 ・新生産管理システム（スマイル）の活用。 ・棚卸し業務の効率化と精度の向上。 ・互換性のある図面の作成と在庫利用を計る。	・内部監査でチェックしていく。 ・主力部材のみ、期中で在庫（棚卸し)を実行する。 ・スマイルの機能を分析活用する。 ・長期滞留在庫のABC分析を　3分類化し、データとして明確にする。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	製造部 千田	翌年4月
④	製品の提供（売上）	・経営の安定化を図り、企業の利益体質化を目指す。	・「販売基本戦略」の立案。 ・年間売上4億円の確保。	・営業会議の中で、部員全員の総意のもとで「販売基本戦略」を構築していく。	・MRIにより、営業会議で趣旨説明を実施していく。 ・部員全員の意見とアイディアを収集する。	・以前の「骨太の販売戦略」を参考にしてみる。 ・今期の販売計画を確認していく。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	営業部 竹内(康)	翌年4月